

LA MЯTИ B HOBOCИBИPCK (The memory in Novosibirsk)



中学3年

今野 春子

1. 私 が 研 修 で 得 た か っ た も の

私がこの姉妹都市少年交流事業<ノボシビルスク市派遣>を見つけたのは、今年の2月の末頃でした。ちょうど2018年平昌オリンピックのフィギュアスケートでのエフゲニア・メドベージェワ選手の活躍を見て、ロシアという国へ興味を持ち始めた時だったため、このプログラムへの応募を決めました。参加者として決定したという書類を受け取ってから、ロシアについてヤノボシビルスクについて様々なことを調べました。調べていく中で、私はロシアという国が伝統的な文化をいくつも持っていることが分かり、日本とは種類の異なるそういう文化も体験してみたいと思いました。

研修プログラムを頂いて、最も行って良かった所はロシア生活伝承館の見学でした。なぜなら、そこに行きロシアの伝統的な生活や文化を知り、さらにホームステイで現代のロシアの生活や文化を知ること、日本との共通点や相違点を見つけたり、人々がどのように暮らしてきたのか学んだり出来ると考えましたからです。

2. ホ ス ト フ ァ ミ リ ー と の 生 活



左の写真は、ホームステイの日目に見学したイヌバというロシアの伝統的な住居で撮影しました。手に持っているのは、教えてもらった朝作ったロシアの人形です。朝の11時から18時近くまでの長いプログラムだったの、衣食住に加え音楽やおもちやなどについても学ぶことが出来ました。この他にもノボシビルスク動物園やカラネリウム、ホストファミリーとはアワアパークや大学へ行きました。

今回のホームステイは9日しかなかったのですが、たとえ他の日本人団員と一緒に行動するプログラムの内容でも、ホストと一緒に動くようにしました。そうすることで、ホストやホストファミリーとの会話を増やした

お互いが色々な話をすることが出来ていたと思います。

ホストやホストファミリーとは、日本のことをロシアのことも教え合いました。ホストもホストファミリーも日々の生活の中でこれは日本語でなんと言うの?とか日本の学校はどうなの?と日本のことをたくさん質問してくれました。そして私に、ロシアのライフスタイルやノボシビルスクの歴史、訪ねた施設の概要などを教えてくれました。質問に答えるのも、教えてもらったことを聞くのも全て英語だったため、大変なことでもなかったですが、互いに自分の国や生活のことを教え合えたと思います。

3. 研修を終えて

今回の研修を終えて、2つのことを考えました。1つ目は日本のことをさらに知らなくてはいけないということです。私のホストファミリーはノボシビルスクの歴史やロシア文化についてを細かく教えてくれました。しかし私は、札幌についてや日本の文化について、少ししか知らなかったため全てを満足に教えることが出来ませんでした。そのため、2年後にホストが日本に来る時は日本についてを英語で伝えられるように学んでおきたいと思っています。

2つ目は短い時間を有効に有意義に使うということです。今回のプログラムは9日間と決して長い期間ではありませんでした。そのため、その中でどのくらいホストファミリーのちんと仲良くなれるかを考えました。私のホストファミリーはホストファミリーがイギリス人でも英語がペラペラ、ホストファミリーが英語を話せる人達だったので、コミュニケーションに困ることはありませんでした。英語を話せるホストファミリーが明らかな点に感じています。もちろん家族間のロシア語の会話に少しは難しかったですが、ホストファミリーがくれたので、家にいても食事でも車の中でも家族の会話に混ざって話すことができました。私は本当に素晴らしいホストファミリーに出会ったと思っています。



4. これから

私は今回のホームステイを通して、英語力が付いたのはもちろんですが、それ以外にも自身に明らかなことを学べたと感じています。例えば、ロシア文化のこと、異国の生活スタイル、コミュニケーションのとり方、そして札幌の代表としてどこかへ行くということがどういうことなのかということなどです。ただ、明らかなことを学んだことだけでなく、たくさん反省も生まれました。もっと自分から話しかけていけば、とかあの時もっと良い反応の仕方があったんじゃないかなとか考えれば考えるほど出てきます。しかし、今回のプログラムには2年後にもう一度チャンスがあります。2年後にホストが日本へ来て私が受け入れる側になった時、私がホストファミリーにしてもらったこと以上のものを返せるように、そして今回の失敗や後悔をなくせるように、日ロの生活の中で学び、成長していきたいです。



最後に存じりましたが、今回のプログラムを通して最初から最後まで明らかな面から私運を支え、通訳の中村さん、その他関係者の皆様、そして送り出してくれた両親、本当にありがとうございました。2年後、またよろしくお願い致します。

導いてくれた札幌市、ノボシビルスク市の職員の皆様、通訳の中村さん、その他関係者の皆様、そして送り出してくれた両親、本当にありがとうございました。2年後、またよろしくお願い致します。